

基本情報						
教科・科目		中2 歴史		・授業で使用するもの ・授業プリント（各自なくさないようにファイリングすること） ・教材：教科書（日本文教出版『中学社会歴史的分野』、東京法令出版『グラフィックワイド歴史』）		
担当者		西田幸乃（中2A）、伊藤大介（中2B・C）				
評価割合（試験：試験外）		試験：5                      試験外：5		・定期テスト①～⑤は100点満点 ・試験外評価については、授業で行うアクティビティほか、提出物等で評価する。		
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）		・歴史上の出来事や人物、時代の特色を正しく理解するとともに、それらに関連づけて大きな流れとして捉える力を養う。		
		理知（思考力・判断力・表現力等）		・歴史的事象の背景や原因・結果を多角的に考察し、資料や情報をもとに自らの考えを形成する力を養う。さらに、比較・関連づけを通して時代の特徴を判断し、適切な言葉や方法で論理的に表現できる力を高めることを目指す。		
		探究・叡智（主体的に学習に取り組む態度）		・歴史に対する関心を深め、自ら問いを立て、資料や情報を積極的に収集・活用しながら学びを進める態度を育成する。さらに、学んだ内容をもとに考えを深め、歴史的視点から現代社会への理解や未来への展望を主体的に考えようとする姿勢を養う。		
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4	6	第1編 私たちと歴史 第2編 古代までの日本と世界	・歴史的事実の知識の確認と、歴史的事象の因果関係を有機的に結びつけている。 ・歴史とは、何か？学ぶ意義とは何か？を中1の地理学習の土台の上で、興味や関心を深めていく。人類の起源や、四大文明の特徴を自ら主体的に説明できるようになる。	・春休み課題「山口県の魅力」 ・歴史の年代の表し方	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・プレゼンテーション	プレゼンテーション
5	9	第2編 古代までの日本と世界	・歴史的事実の知識の確認と、歴史的事象の因果関係を有機的に結びつけている。 ・ギリシャ・ローマ文明の特徴をおさえながら、人間と宗教の関わりが深まっていたのはなぜか説明できるようになる。	第1編 私たちと歴史 第2編 古代までの日本 1 人類の始まりと文明 ①人類の出現 ②古代文明の誕生 ③中国の文明と東アジア世界 ④ギリシャ・ローマの文明 ⑤文明と宗教	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・プレゼンテーション	・プレゼンテーション ・小テスト ・レポート
6	定期試験① 令和8年 6月3日—6月5日）					
6	11	第2編 古代までの日本と世界	・歴史的事実の知識の確認と、歴史的事象の因果関係を有機的に結びつけている。 ・日本列島が形成されていく時の人々の活動を、大陸との関係を理解しながら説明できるようになる。	2 日本列島の人々と国家の形成 ①日本人のルーツと縄文時代 ②稲作の広まりと弥生時代 ③ヤマト政権と渡来人 ④東アジアの統一国家	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・プレゼンテーション	・プレゼンテーション ・小テスト ・レポート
7	8	第2編 古代までの日本と世界	・歴史的事実の知識の確認と、歴史的事象の因果関係を有機的に結びつけている。 ・国家が形成されていく過程を、政治や経済、文化といった多面的な見方をもとにしながら説明できるようになる。	⑤聖徳太子と飛鳥文化 ⑥律令国家の成立 3 古代国家の展開 ①奈良の都と人々のくらし	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・プレゼンテーション	・プレゼンテーション ・小テスト ・レポート
7	定期試験② 令和8年 7月15日—7月17日 範囲）					
8					・夏期課題	・プレゼンテーション ・レポート
9	8	第2編 古代までの日本と世界	・歴史的事実の知識の確認と、歴史的事象の因果関係を有機的に結びつけている。 ・天皇と藤原氏の関係に着目しながら、律令国家が成熟していく過程を、外国との関係も分析させながら説明できるようになる。	②天平文化と聖武天皇 ③平安京と桓武天皇 ④摂関政治と国風文化	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・プレゼンテーション	・プレゼンテーション ・小テスト ・レポート
10	9	第3編 中世の日本と世界	・歴史的事実の知識の確認と、歴史的事象の因果関係を有機的に結びつけている。 ・武士が登場していく過程を、律令国家が変質していく過程とを結びつけながら理解し、説明できるようになる。	第3編 中世の日本と世界 1 古代から中世へ ①武士の登場 ②院政と平氏政権 2 鎌倉幕府の成立 ①鎌倉幕府の政治	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・プレゼンテーション	・プレゼンテーション ・小テスト ・レポート
10	定期試験③ 令和8年 10月21日—10月23日 範囲）					
11	8	第3編 中世の日本と世界	・歴史的事実の知識の確認と、歴史的事象の因果関係を有機的に結びつけている。 ・鎌倉幕府のしくみへの理解を深めながら、元寇という外的要因が、国内の支配体制にどのような影響を与えたのか、説明できるようになる。	②鎌倉時代の文化 ③鎌倉時代 ④元の襲来と鎌倉幕府	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・プレゼンテーション	・プレゼンテーション ・小テスト ・レポート
12	5	第3編 中世の日本と世界	・歴史的事実の知識の確認と、歴史的事象の因果関係を有機的に結びつけている。 ・鎌倉幕府のしくみへの理解を深めながら、元寇という外的要因が、国内の支配体制にどのような影響を与えたのか、説明できるようになる。	3 室町幕府と下剋上 ①南北朝の動乱と室町幕府 ②東アジアとの交流と琉球王国の成立	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・プレゼンテーション	・プレゼンテーション ・小テスト ・レポート
12	定期試験④ 令和8年 12月9日—12月11日 範囲）					
1	7	第3編 中世の日本と世界	・歴史的事実の知識の確認と、歴史的事象の因果関係を有機的に結びつけている。 ・室町幕府のしくみへの理解を深めながら、自立的な農民の動きや諸産業の発達の原因を考え、動乱期に移行していった過程を多面的な見方で説明できるようになる。	③産業の発展と都市と村 ④応仁の乱と戦国大名	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・プレゼンテーション	・プレゼンテーション ・小テスト ・レポート
2	10	第3編 中世の日本と世界 第4編 近世の日本と世界	・歴史的事実の知識の確認と、歴史的事象の因果関係を有機的に結びつけている。 ・中世から近世への時代の変わり目を世界的な動きとを関連させて理解し、一体化していく流れを説明できるようになる。	⑤室町時代の文化とその広がり 第4編 近世の日本と世界 1 中世から近世へ ①イスラム教の世界とキリスト教の世界 ②つながれていく世界	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・プレゼンテーション	・プレゼンテーション ・小テスト ・レポート
3	定期試験⑤ 令和9年 3月4日—3月6日 範囲）					
3	3	第3編 中世の日本と世界 第4編 近世の日本と世界	・歴史的事実の知識の確認と、歴史的事象の因果関係を有機的に結びつけている。 ・中世から近世への時代の変わり目を世界的な動きとを関連させて理解し、一体化していく流れを説明できるようになる。	⑤室町時代の文化とその広がり 第4編 近世の日本と世界 1 中世から近世へ ①イスラム教の世界とキリスト教の世界 ②つながれていく世界	・講義 ・個人ワーク	・講義 ・個人ワーク